



声のラン

声①

先日、近所に新しい町内会館ができました。この町内会館の建築には「米軍訓練再編交付金」が使われたと聞きました。

「米軍訓練再編交付金」とはどのようなお金ですか？

また、このお金はどのようなことに活用しているのでしょうか？

答①

アメリカは現在、世界各地にある基地の見直しや移転など、再編を進めています。

日本にも全国各地に米軍の基地があります。国は、特に基地の集中している沖縄県の負担を軽くすることを目的として、米軍基地や訓練の移転を進めています。

「米軍訓練再編交付金」は、平成19年8月に施行された「駐留軍等の再編の円滑な実施に関する特別措置法」により、在日米軍の基地や訓練の移転を受け入れた自治体に、その負担に応じて国から交付されるものです。

再編交付金は、現在、基地や訓練を受け入れた約40の自治体に交付されています。

市は、在日米軍の千歳飛行場への訓練移転を受け入れていますが、その結果、平成28年度までの10年間に約35億円の再編交付金が交付される予定です。

この交付金は国が示す条件の範囲内で使い道を決めることができます。訓練の移転を受け入れた地域の負担に応じて交付される交付金であるた

「米軍訓練再編交付金」って何ですか？

め、住みよいまちづくりのために使う必要があります。

再編交付金の活用方法は、訓練による騒音が大きい「騒音地区」の状況を踏まえて、また、市の重点施策や新しい長期総合計画、各団体の要望などを参考に決めています。

平成21年度は、稲穂町内会と東郊町内会が計画していた新しい町内会館を建てる費用の一部に交付金を充てました。また、老朽化したコミュニティセンターの改修や町内会活動に必要なテーブルなどの備品の購入などに充てています。今後も再編交付金をまっちづくりに役立つものに活用し、防衛施設との共存・共栄を進めます。

空港・基地課 基地係
☎(24)0468



再編交付金を活用して建てられた東郊町内会館。入り口の段差をなくすなど、誰にもやさしい建物になっています。

《80歳代男性》

【ワンポイントメモ】

平成22年度は約4億4千万円の再編交付金が交付される見込みです。町内会館の建築や備品の購入に充てるほか、公園施設の更新や市民文化センターなどのバリアフリー化、AED(自動体外式除細動器)の設置、市道の整備、街路灯の設置などを行う予定です。

案内

「声のラン」では、おもに「市長への手紙・ポスト」や「広報広聴モニター」の声と、その答えをご紹介します。そのほか皆さんからの一般的な質問などもご紹介しますので、普段から疑問に思っていることなどを、お手紙などでお寄せください。ただし、ほかの市民にも参考になる内容を採用させていただくため、個人的なことなどすべてを掲載することはできません。また、質問の内容を確認する必要上、お手紙には必ず連絡先と名前をご記入ください。【〒066-8636 / 千歳市東雲町2丁目34 / 千歳市企画部広報広聴課 宛】